アイアンハート

薪ストーブを搭載した
クックストーブ
取扱説明書

CE MADE IN BRITAIN HETAS ESSE TESTING 2022 ECODESIGN READY

目次

1.ようこそ、エッセへ 4

2.操作手順 5

クックストーブを使用される前に 5

クックストーブとの付き合い方 5

付属のツールとパーツ 7

一酸化炭素アラーム 8

換気口 8

薪 8

エッセ・クックストーブの付け方 9

リフレッシング 11

火格子とリドリング 11

灰皿 12

クッキングストーブでの調理 13

燃焼の抑制 16

煙道ドラフト 17

クリーニング＆メンテナンス 17

煙突掃除 20

安全なシャットダウン 20

季節的な使用 21

保証期間 21

トラブルシューティング 22

3.設置方法 23

設置計画 23

換気口 23

製品仕様 25

一酸化炭素 アラーム 25

機器の開梱 26

ホットプレートの準備 26

煙突と薪 26

囲炉裏 27

隙間距離（可燃物・非可燃物） 27

煙道ドラフト 27

コミッショニング..... 28
4.消耗品について 29
5.性能宣言 29

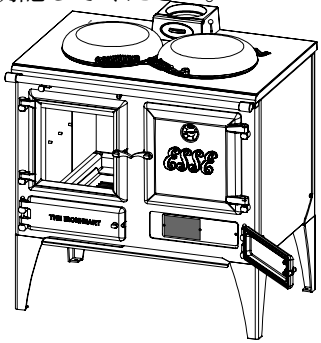
1.ようこそ、エッセへ

ESSEファミリーへようこそ　私たちは、1854年から市場をリードするストーブを設計・製造してきた知識、専門性、情熱のすべてを、ESSEクッキングストーブの製造に注いできました。 すべてのESSEクックストーブはランカシャー州バーノルズウィックにある当社の工場で製造されています。適切に設置、メンテナンス、お手入れをしていただければ、ESSEストーブは料理や部屋の暖房、快適さや喜びを長年にわたって提供してくれるものと確信しています。

ESSE クックストーブに初めて火を入れる前に、設置業者が本マニュアルの「設置」の項に沿ってストーブを設置し、煙道と煙突が掃除されていることを確認してください。 このクックストーブは、共用煙道での使用には適していません。

当然のことながら、使用中はストーブのすべての部分が熱くなりますので、ESSE クックストーブを操作する際には、必ず付属の操作ツールまたは手袋を使用してください。子供やペットがストーブに触れる可能性がある場合は、BS 8423:2002 に準拠して製造されたファイヤーガードを使用してください。このストーブは、断続的な操作に適しています。点火中のストーブの近くでエアゾール式スプレーを使用しないでください。

この説明書には、ESSE クックストーブを設置し、操作するために必要なすべての情報が記載されています。 お使いのストーブに関する重要な情報（シリアル番号など）は、右下のドアの後ろにあるデータプレートに記載されています。今後、販売店やメーカーと連絡を取る際には、モデル名とシリアル番号を明記してください。



データプレートの位置

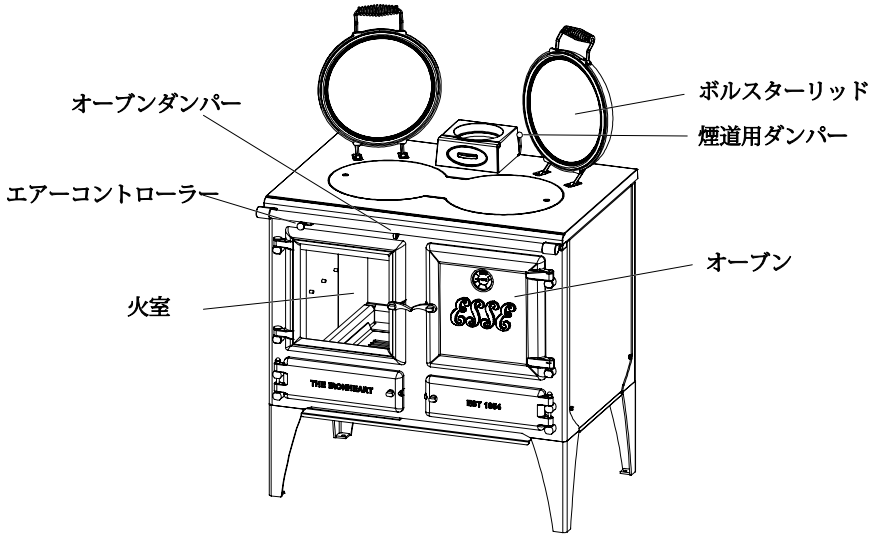
2. 操作手順

クックストーブを使用する前に

保護パッケージがすべて取り外されていることを確認してください。
ホットプレートは、錆びないように工場で油を塗ってありますので、ご使用前に湿った布で拭いてペーパータオルで乾かしてください。
本機は薪の燃焼にのみ適しています。本機と同じ部屋には、換気扇を設置しないでください。

⚠ 手すりの上にティータオルなどを置かないでください。

クックストーブを使いこなす



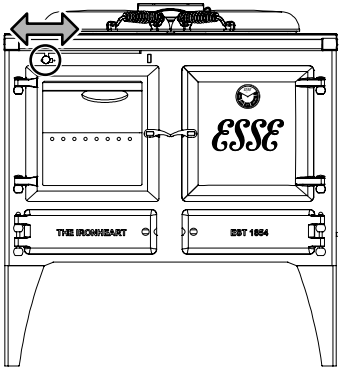
エアーコントローラー これは、火に供給する空気の量を調整することで、火の強さをコントロールするために使用します。左に動かすと空気量が多くなり、燃焼速度が速くなり、右に動かすと空気量が少なくなり、燃焼速度が遅くなります。

オーブンダンパ これは、オーブンの温度をコントロールするためのもので、必要に応じて、火からの熱いガスをオーブンから遠ざけるために使用します。
ダンパーを閉じる（オーブンの温度を最大にする）に

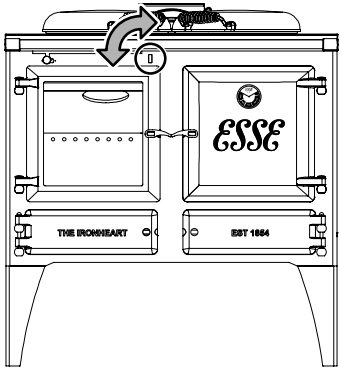
は、ダイヤルを時計回りに回転させます。ダンパーを開ける（オーブンの温度を下げる）には、ダイヤルを反時計回りに回転させます。

煙道用ダンパー

この機能は主に、悪天候時などに発生する過剰な煙道ドラフトを管理するために使用します。ただし、適切な煙道ドラフトは、機器の設置時に作成する必要があります（詳細については、本書の煙道ドラフトの項を参照してください）。また、最初に火をつけるときに、追加の空気を供給するためにも使用できます。煙道ダンパーは、レバーを機器の後部に向かって後方に押すことで開き、前部に向かって前方に引くことで閉じます。



エアーコントローラーの使用方法
(炎を制御する)

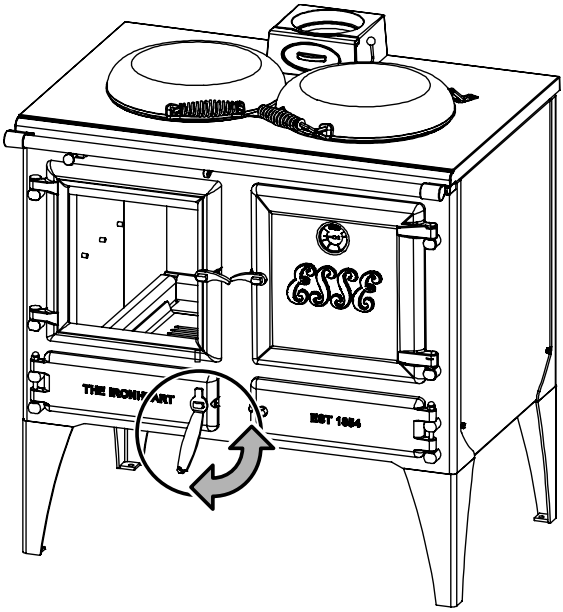


オーブンダンパーの使い方
(オーブンの温度を管理する)

キャッチを反時計回りに90°回転させると、大きなガラス張りの防火扉から火箱にアクセスできます。オーブンは右上のドアの奥にあり、キャッチを時計回りに90°回転させると開きます。使用中はどちらのキャッチも熱くなりますので、必ず付属の手袋を使用して開閉してください。手袋はエアーコントローラーの調整にも使用し、オーブンダンパーの回転には付属の工具を使用することをお勧めします。

リドルプレートとアッシュパンは、左下のドアの奥にあり、付属のツールを使って開きます。

2. 操作手順



クックストーブを主に部屋の暖房として使用する場合は、ボルスターの蓋を開けておき、ホットプレートの熱を部屋に放射することをお勧めします。

付属のツールとパーツ

ESSE Ironheartには以下のものが付属しています。

グローブ（コントロールを操作するためのもの）
操作ツール（ドアを開けたり、操作部や灰皿を使ったりするためのものです。）
ファイアーシールド（調理中に熱を逃がすためのものです。）
ワイヤーブラシ（オーブンやホットプレートの掃除に）
ホットプレート持ち上げツール（X2）（ ホットプレートを取り外すために）
煙管ブラシ（煙道のブラッシング用）
煙道用熊手（煙道の掃除に使用します。）

これらはすべて大切に保管してください。

本機は焼却炉としての使用には適していませんので、不適切な燃料を使用しないでください。この要求に従わないと、保証が無効になります。

一酸化炭素 アラーム

ESSEクッキングストーブと同じ部屋に一酸化炭素(CO)警報器が設置されていることを、設置業者が確認しているはずです。　これは、BS　EN 50292:2013 規格の要件であり、この重要な機器の操作についてよく理解しておく必要があります。

換気口

すべてのストーブは、火の燃焼を可能にするために、「燃焼用空気」を安定して供給する必要があります。 一般的に、公称出力が5kW以下のストーブには、恒久的な外気導入口は必要ありません。 しかし、通気性の低い築浅の住宅では、ストーブの公称出力に関わらず、恒久的な外気導入口が必要な場合があります。 設置業者は、お客様の状況に応じた必要条件についてアドバイスしてくれるでしょう。　詳細については、本マニュアルの設置編にある「換気」のセクションを参照してください。

薪

ESSEクッキングストーブは、薪を燃やすように設計されています。 ESSEクッキングストーブで薪を燃やすと、持続可能で効率的な「クリーン」な暖房が実現します。 薪の含水率は、クックストーブの「クリーン」な燃焼と、燃料の燃焼時間の両方に影響するため、非常に重要です。　グリーンウッド」と呼ばれる伐採されたばかりの木材は、ほとんどの場合、含水率が高すぎて効率的かつクリーンに燃焼させることができません。 同様に、乾燥しすぎた木材はすぐに燃えてしまい、排出量が多くなるため、クックストーブの経済性が低下します。

含水率15～20％の薪を使用することをお勧めします。 これは、生木を自分で12～18ヶ月間保管し、定期的に水分検出器でチェックするか、

薪の含水率を管理している信頼できる薪専門業者から購入することで実現できます。

最良の結果を得るためには、長さ300mm、直径/幅80mmにカットされた丸太をお勧めします。

エッセのクッキングストーブをたく

ESSEクッキングストーブに初めて火を入れたとき、煙が出たり、臭いがしたり、「カチカチ」という音がしたりすることがあります。これは、製造に使用されている材料が初めて加熱されるためで、ごく普通のことです。　これらの症状はしばらくすると収まりますが、「落ち着く」までの間、部屋の換気を十分に行ってください。

ESSEクッキングストーブが搭載されていたパレットは、薪として使用するのに適した点火時期調節装置で作られていますので、そのために分解したり、刻んだりすることができます。

最初は小さな火を1～2時間ほどつけて、煙道や煙突内の水分を乾燥させます。

⚠ 火をつけている間は、火が定着し、ドアが完全に閉まり、エアコントローラーを適切なレベルに調整するまで、ESSEクッキングストーブを放置しないでください。

ESSE　Ironheartに点火する前に、エアーコントローラーが完全に開いている（左に押している）ことと、オーブンダンパーが完全に開いている（反時計回りに回しきっている）ことを確認してください。必要であれば、機器の後部にあるレバーを押すことで、煙道ダンパーも開くことができます。

2. 操作手順

小さな薪を2本、焚き口の長さに沿って並べ、その上に焚き付けや新聞紙を固く丸めたものを置きます。その上に榾木（ほだぎ）で小さな格子を作り、さらにその上に小さな薪を置く。

ファイアーライターや新聞紙に安全に火をつけ、ドアを閉めますが、少しだけ開けておきます。炎が薪の上に定着したら（通常3～5分以内）、ドアを完全に閉め、空気調節器を右に動かして空気量をゆっくりと減らします。炎が丸太の上でゆっくりと「踊る」ようになるまで、エアーコントローラーを使って火をコントロールし続けます。

薪の最大積載量は2Kg/時間を推奨します。

ESSEクッキングストーブは、火をつけすぎないことが非常に重要です。火をつけすぎると、機器に長期的な損傷を与え、保証が無効になることがあります。

⚠ このドアは、ESSEクッキングストーブの最初の点火／給油時にのみ開けてください。 通常の使用時にドアを開けたままにしておくと、煙が部屋に充満してしまうことがあります。

⚠ クックストーブの中で火をつけると、すべての操作部やハンドルが熱くなります。機器を操作するときは、付属の操作ツールや手袋を使用してください。

REFUELLING

燃料の補給は、現在の燃料の炎がまだ燃えているうちに行わなければなりません。現在の火が消えてしまった場合は、燃料を追加する前に、薪を追加して再び火をつけます。火床に燃料を入れる際は、燃料が後壁や側壁、ガラス窓に触れないようにしてください。

薪を最適に燃焼させるためには、火格子の中に1～2cmの灰を残します。まず、現在の燃料をかき集めて、新しい燃料を置くための熱い炎のベッドを作ります。 その上に新しい薪を置いていきます。

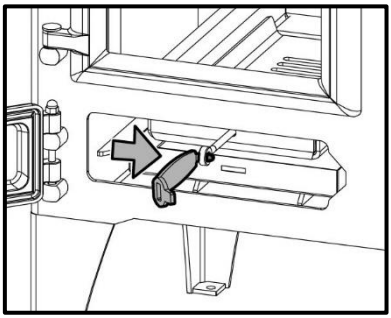
⚠ 過剰な燃料を入れて火を「入れすぎ」ないようにしてください。過燃焼になり、ESSEクックストーブに永久的な損傷を与える可能性があります。

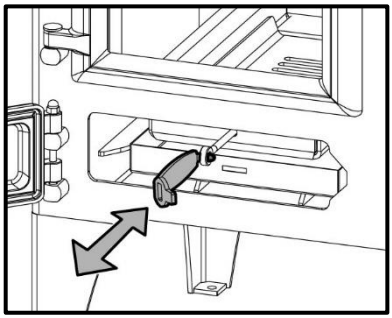
火格子とリドリング

⚠ ESSEクッキングストーブは、使用中および使用後は高温になります。 ストーブの手入れには、必ず付属の操作ツールとストーブグローブを使用してください。

ESSEストーブの火格子は、火格子とリドルプレートの2つのパーツで構成されています。火格子は、リドルプレートを素早く前後にスライドさせることで、余分な灰を両方のパーツのスロットから下のアッシュパンに落として「リドル」することができます。

火格子を「なぞる」には、まず操作ツールの先端にあるフックを「なぞり棒」のループに差し込みます。 次に、操作ツールの位置を前後に素早く動かして、灰皿に灰を落とします。



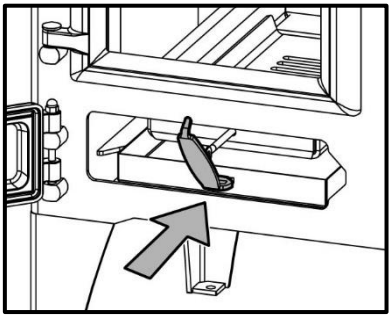


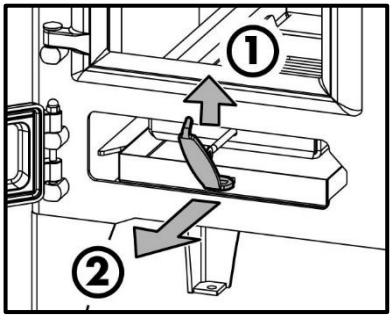
火格子の位置　リドルプレートは火格子の溝を塞ぐようにして、火格子を「閉じ」ます。灰皿の深さが20mm以上になってから火格子を「リドル」して、余分な灰を取り除きます。

灰皿

⚠ ESSEクッキングストーブは、使用中および使用後に高温になります。 灰皿の取り外しと交換には、必ず付属の操作ツールと手袋を使用してください。灰皿の取り外しは、本機と灰が冷めてから行ってください。

火格子が「リドル」になると、灰は下の灰皿に落ちます。灰皿が満杯になってきたら、空にして灰を捨ててください。灰皿を取り外すには、操作ツールの適切な先端を灰皿の前面にあるスロットに差し込み、慎重に前方に引き出して、ESSEクッキングストーブから離します。





ESSE　クックストーブに永久的な損傷を与える可能性があるため、灰のレベルが火格子の下側に触れるようには絶対にしないでください。高温の灰をプラスチック製のゴミ袋やゴミ箱に入れないでください。

クッキングストーブでの調理

⚠ 使用中は必ず左下のドアを閉めてください。そうしないと、火箱に空気が入りすぎてしまいます。

アイアンハートは空間を暖めるために使用することもできますが、主に木を燃料とする調理器です。クックストーブには、オーブン、ホットプレート、ファイヤーボックス内の3つの調理エリアがあります。

オーブン

使用時には、炎の熱気がオーブンの外側を循環して加熱され、完璧な調理を実現します。そのため、オーブンの底面にフライパンやキャセロール皿を置いても揚げ物をすることなく、約50リットルの容量をすべて使い切ることができます。

オーブンは幅よりも奥行きの方が大きいので、食品を見るためにドアを開けたときの熱損失を抑え、調理温度を維持することができます。使用中はオーブンのドアを閉めておく必要があります。

オーブンのドアを開けるときは、ハンドルが熱くなるので、必ず付属の手袋を使用してください。オーブンのドアを開けるには、ハンドルを時計回りに90°回転させて、慎重に開きます。

オーブンの扉の中には温度計があり、オーブン内の温度の目安になります。ドアを開けると文字盤に表示される温度が下がり、その後ドアを閉めると温度が戻るのに時間がかかることを覚えておいてください。温度計は、あくまでもオーブンの温度の目安としてお使いください。

ESSE Ironheartにはワイヤーシェルフが付属しており、オーブン内のスチール製ランナーピンの上に設置することができます。ワイヤーシェルフには固定装置が付いており、誤ってクッカーから外れてしまう危険性を軽減しています。棚を取り外すには、棚を手前に引いてから、棚の前部を斜めに持ち上げ、棚のランナーからゆっくりと引き抜きます。

ホットプレート

鋳鉄製のホットプレートは、犬の骨のような形をしていて、熱を発する場所が段階的に変わるように設計されています。左側は焚き口の真上に位置するため、最も高温になり、煮炊きに適しています。右側は、熱伝導を利用して熱を供給するので、煮込み料理に適しています。

調理内容に応じて、ホットプレートの両面を使って、炙り焼き、炭火焼き、トーストなどの直火調理ができます。その際、ボルスターの蓋を閉めて火力を上げたり、蒸し焼きにしたりすることができます。

ホットプレートの独特の大きな面積は、最大6つのフライパンを快適に収容できます。ただし、重量のあるフライパンやキャセロール皿、鉄板などの使用をお勧めします。

火室

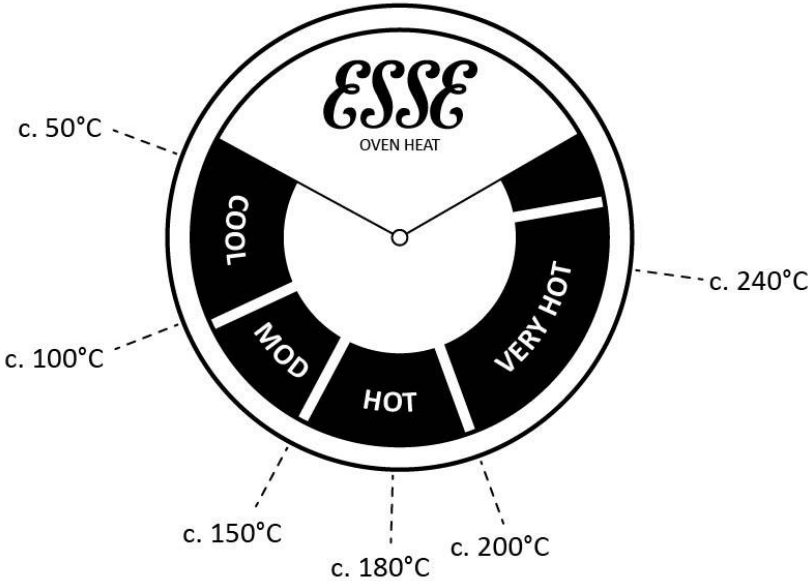
ESSE Ironheartでは、薪の上で直接調理することで、伝統的な炭火焼きのラインを再現し、薪を使った料理の独特の風味を楽しむことができます。

この機能をお楽しみいただくには、オプションの「Firebox Cooking Shelf」を販売店またはESSEにお買い求めください。オプションの「Firebox Cooking Shelf」を購入すると、点火後にファイアボックス内に設置することができます。

火が消えた後、付属のグローブを使い、サイドブリックにあるスチール製のピンランナーに沿ってファイアボックスクッキングシェルフを慎重にスライドさせます。

2. 操作手順

⚠ 焚き火をするときは、必ず防火扉を閉めてください。



温度ガイド付きオーブンゲージ

オーブンゲージは、オーブンの温度を表示するのに便利なツールですが、オーブンの加熱方法により、正確な温度を読み取ることはできないことを覚えておいてください。

ESSE　Ironheartは、火から出る高温のガスを、クックストーブの最も必要とされる場所に導くことができるよう、巧妙に設計されています。オーブンダンパーは、どの調理エリアを使用するかによって、熱を管理するために使用する必要があります。

オーブンでの調理について　オーブンダンパーは完全に閉じて（時計回りに回しきって）、高温のガスがオーブンの周りを循環して加熱し、ホットプレートを通過して煙道を通っていきます。

ホットプレートでの調理について

オーブンダンパーは全開（反時計回りに回しきった状態）にして、高温のガスの大半が煙道を通る前に、火箱からホットプレートに直接流れるようにします。

オーブン、ホットプレートでの調理について

オーブンダンパーは、調理内容や調理スタイルに応じて、完全に閉じた状態（時計回りに回しきった状態）、完全に開いた状態（反時計回りに回しきった状態）、またはその中間の位置に配置することができます。ESSE Ironheartでの調理経験をもとに、最適な位置や熱いガスをどこに向けるかを選択してください。

ホットプレートを使用していないときは、ボルスターの蓋を下にしておくと、保温効果があり、ホットプレートの温度を保つことができます。

温度が上がると、調理エリアを高温に保つために比較的少量の燃料が必要になります。これは、ESSEIronheartに長期的なダメージを与えるだけでなく、調理中に機器の前に立つと不快な暑さを感じる原因にもなります。問題が発生した場合は、付属のFireGuardをガラス製のオーブンドアの前に設置することで、ユーザーからの熱を逃がすことができます。

ESSE　Ironheartで料理をする際には、付属のファイアーシールドを使用することで、焚き口から発せられる熱からユーザーを守ることができます。ファイアーシールドを取り付けるには、ガラス製のファイヤードアの前にあるハンドレールに吊り下げるだけです。

焼き付きの減少

火が定着すると、エアコントロールを閉じ、ドアがしっかりと閉まっていることを確認します。煙道のドラフトや燃料の種類によっては、エアコントロールの設定を試行錯誤する必要があります。この方法でクックストーブを使用すると、ガラス窓の内側の面にススが溜まりやすくなります。

煙道ドラフト

ストーブを安全かつ効率的に使用するには、適切な煙道ドラフトが必要です。設置の際には、施工業者が煙道のドラフトを測定し、推奨範囲である 12 ～ 25 パスカルに収まっていることを確認してください。クックストーブが薪を早く燃やしてしまう場合や、エアコントローラーを調整しても火の制御にあまり効果がない場合は、設置業者に相談して煙道のドラフトが適切であることを確認してください。

清掃・メンテナンス

お使いのESSEクッキングストーブは、頻繁に点検し、必要なメンテナンスを行ってください。ESSEクッキングストーブは、年に1回、資格を持ったサービス担当者が点検することをお勧めします。

クックストーブトップは調理に使用されるため、それに伴う摩耗や損傷が生じます。吹きこぼれは、湿った布ですぐに拭き取ってください。
オーブン用化学洗剤は、コンロの表面には使用しないでください。

付属のワイヤーブラシを使って、鋳鉄製のホットプレートやオーブン内部の頑固な汚れを落とすことができます。

> ⚠ ワイヤーブラシを塗装面（ホットプレートを囲む天板を含む）に使用すると、塗装仕上げにダメージを与えるので注意が必要です。

他の鋳鉄製部品と同様に、ホットプレートは水分に長時間さらされると錆びます。その場合は、付属のワイヤーブラシで表面のサビを落とし、亜麻仁油（食品グレードのアマニ油）を薄く塗って味付けしてください。オーブンの内側にも亜麻仁油を塗っておくと、特にオーブンを長時間使用しないときに錆びないように保護することができます。

> ⚠ 修理や改造は、ESSEの認定を受けた専門家のみが行ってください。ESSE純正の交換部品のみを使用してください。保証が無効になる場合があります。

一般的なクリーニング　外装の鋳鉄や鋼板の部分は、柔らかいブラシや糸くずの出ない布で拭いてください。機器の一部を再塗装する必要がある場合は、高温のエアゾール式塗料がお店で購入できます。

ガラス窓

ガラス窓の清掃が必要な場合は、湿らせた布で拭いてください。頑固な汚れが残っている場合は、専用のガラスクリーニング液を使用してください。研磨剤入りのクリーナーやパッドを使用すると、表面に傷がつき、ガラスが早期に破損する可能性があるため、使用しないでください。再点火する前に、ガラスが完全に乾いていることを確認してください。

ロープシール

Ensuring a firm seal between the body of the appliance ESSEストーブを効率よくきれいに燃焼させるには、ドアが閉じていることが重要です。ドアの内側面にあるロープシールは、定期的に点検し、必要に応じて交換してください。

クローム部品

クローム部品は、専用のクロームクリーナーで洗浄することができます。刺激の強い化学薬品を使用すると、仕上げが鈍くなります。刺激の強い研磨パッドやブラシは、表面に傷をつけてしまうので使用しないでください。

外側の塗装面

クックストーブの外装は、この用途のために設計された専門の高温湿潤塗料で塗装されています。しかし、クックストーブの使用期間中に、塗装部分の手直しが必要になることがあります。高温のクックストーブ用塗料は、販売店またはESSEウェブサイトのスペアパーツセクションで購入できます。

メンテナンス作業を行う前に、クックストーブが完全に冷めていることを確認してください。まず、ワイヤーブラシでやさしくこすって、塗装の剥がれた部分を取り除きます。次に、新しい塗料が金属表面に付着するのを防ぐために、油脂類を取り除きます。高温の塗料を塗る前に、コンロの他の部分や隣の物がマスキングされていることを確認します。エアゾールを使用する場合は、適切な換気を行い、

適切な個人用保護具を使用してください。塗布や使用に関しては、メーカーの指示に従ってください。

内部の煙道について

クックストーブ内部の煙道は、年次点検の一環として、煙道や煙突の掃除と同時に清掃する必要があります。

煙道と煙突の掃除が終わったら、高温の煙道ガスが調理器の周りを通って加熱するための内部経路をすべて掃除します。そのためには、ホットプレートと2枚の煙道掃除用アクセスプレートを取り外します。

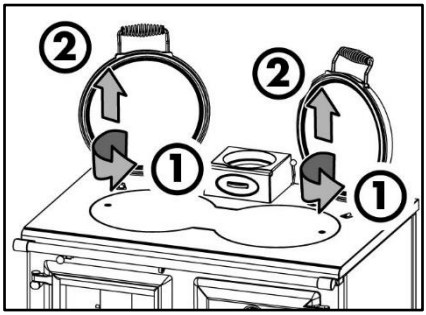
ホットプレートを取り外すには、まず5mmの六角レンチを使って2本の固定ネジを外します。その後、付属のホットプレートリフティングツール（2個）を所定の位置にねじ込んでから、ホットプレートを慎重に取り外します。

フロントアクセスパネルを取り外すには、右下のドアを開けて、パネルを固定している3本のネジを外します。

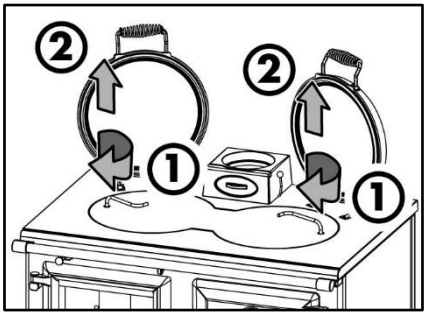
サイドオーブンのアクセスパネルを取り外すには、オーブンのドアを開けた後、2本のトルクスヘッドボルトを緩めて、アクセスパネルを形成している右側の棚板ランナーを取り外します。

すべてのアクセスパネルを取り外したら、まず、煙道用の熊手や掃除機を使ってゴミを掃き出します。次に、煙道掃除用のブラシを使って、オーブンの上、下、横のアクセス可能な部分をすべて掃除します。

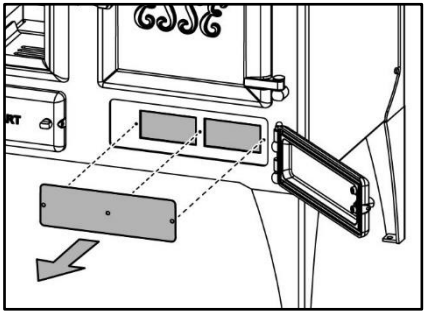
メンテナンス終了後は、ホットプレートと2つのアクセスパネルが、シールが貼られた状態でしっかりと元の位置に戻っていることを確認してください。



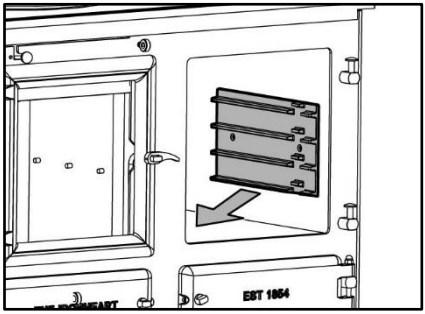
ホットプレートの取り外し - ネジの取り外し



ホットプレートの取り外し - ホットプレートを持ち上げる



フロント・アクセス・プレートの取り外し



サイドオーブン用アクセスプレートの取り外し

煙突掃除

ESSEクッキングストーブを安全かつ効率的に使い続けるために、通常はストーブのシーズン前に、少なくとも年に1回は専門家による煙突掃除を行うことをお勧めします。年間を通して使用される場合は、より定期的な掃除をお勧めします。

安全なシャットダウン

万が一、煙突からの出火、機器の故障、異常気象による機器の燃焼への影響があった場合は、空気コントローラーを右に動かし、燃焼空気の供給量を最小にしてください。これにより、機器内の炎の強さは最小限に抑えられ、その後ゆっくりと消えていきます。煙突や煙道で火災が発生した場合は、直ちに消防署に連絡して支援を求めてください。

季節的な使用

ESSEクッキングストーブを一定期間使用しない場合は、まず、本マニュアルの「クリーニングとメンテナンス」の項に記載されているように、機器のクリーニングを行ってください。ドアを閉める前に、火格子と灰皿の両方から灰をすべて出します。空気調節器を中央に置きます　-　空気の流れを良くすることで、SSSE　クックストーブ内に湿気が溜まるのを防ぎ、サビの原因となります。本機を再点火する前に、上部のバッフルレンガを外してゴミを取り除き、煙道内に詰まりがないか確認してください。

保証について

お買い上げいただいたESSEクッキングストーブは、高級素材を使用した最高水準の製品で、2年間のメーカー保証が付いています。付属の保証登録カードに記入して返送するか、オンライン（www.esse.com/warranty-registration）で登録すると、ESSEクッキングストーブの保証期間が5年にアップグレードされます。5年間の保証を受けるためには、設置後1ヶ月以内に保証登録を行う必要があります。

保証の条件は…

- ✘ このマニュアルに記載されているような、誤った使用方法やアプリケーションは対象外です。
- ✘ 認定された設置者が適切に設置する必要があります。
- ✘ 火格子、ガラス窓、ロープドアシール、灰皿、バーミキュライト製耐火煉瓦などの消耗品は対象外です。
- ✘ 家電製品の機能とは関係のない一般的な損耗や外観上の損傷は対象外です。

故障診断

問題	原因	解決法
窓ガラスの黒ずみ	• 湿った木の丸太	• 含水率15～20％の丸太を使う
	• 燃料がガラス窓に触れる	• 火かき棒を使って燃料を火格子内に戻す
	• 燃焼用空気の不足	• エアコントローラーの設定値を上げる
煙が部屋に出る	• 煙道のつまり	• 詰まりを確認して取り除く
	• 煙道の下降気流	• 煙管カウルの追加やその他の解決策については、設置者と相談してください。
火がつかない	• 燃焼用空気の不足	• エアコントローラーの設定値を上げる
	• 湿った木の丸太を使っている	• 含水率15～20％の丸太を使用
	• 煙道のドラフトが低すぎる	• 設置業者に相談して、修正してください。
火が早く燃えすぎてしまう	• 燃焼用空気が多すぎる	• エアコントローラーの設定値を下げる
	• 過度に乾燥した木の丸太を使用している	• 含水率15～20％の丸太を使う
	• 煙道のドラフトが高すぎる	• 設置業者に相談して、修正してください。

3. 設置方法

設置の計画

本機を設置する際に、1974 年労働安全衛生法（Health and Safety at Work Act 1974）の要件を満たしていることを確認するのは設置者の責任です。
本マニュアルに記載されている設置手順は、安全で適切な設置のためのガイドとなるものですが、固体燃料機器の設置に関連して適用される英国規格、特にBS 8303とBS EN 15287:2007の要求事項を確実に満たすことは設置者の責任です。本機は重いので、取り扱いには十分注意してください。この機器にはアスベスト製品は含まれていませんが、既存の設備にアスベストが混入している可能性がありますので、あらゆる予防措置を講じる必要があります。
設置設計を検討する際には、本機、煙道、煙突の清掃のための適切なアクセスを確保してください。この機器は断続的な運転に適していますが、共有煙道システムでの使用には適していません。この機器は、換気扇と同じ部屋で使用しないでください。ストーブから室内に煙が出る可能性があります。

換気

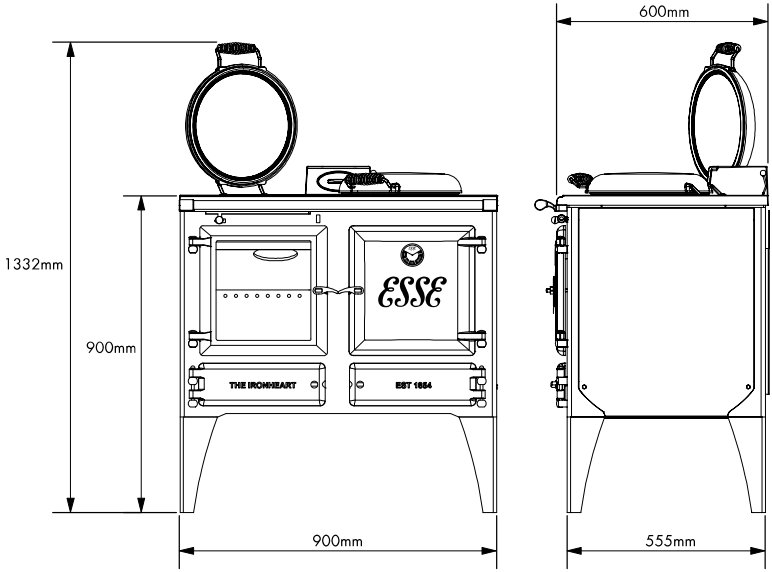
すべてのストーブは、火の燃焼を可能にするために、「燃焼用空気」の安定した供給を必要とします。一般的に、公称出力が5kW以下のストーブには、恒久的な外気導入口は必要ありません。　しかし、新築のように空気の透過性が低い住宅では、恒久的な外気導入口が必要な場合があります。建築規制のDocument Jでは、通気性が5.0m³/(h.m²)以下の部屋にストーブを設置する場合は、ストーブの公称出力に関わらず、恒久的な外気導入口が必要であると説明されています。

外部通風孔は、塞がれないように配置する必要があります。建築規制のDocument Jに記載されている要件に基づき、5kWのストーブに必要な通気口の面積は以下の通りです。

通気性 m3/(h.m²)	最小通気孔面積(cm²)
<5.0kw	不要
>5.0kw	27.5

詳細なガイダンスについては、建築規制のDocument Jを参照してください。特に新築物件では、通気度が低い場合、恒久的な外気導入口が必要になることがあります。

製品仕様



ESSEのクックストーブは手作業で製作されているため、サイズに若干の誤差が生じることがあります。

製品の主な仕様	
公称熱出力(Kw)	7.3
重量(Kg)*	280
最低限の煙道のドラフト	12Pa
煙道のガスマスフロー (g/s)	8.3
煙道の温度 (°C)	215
煙道の直径	6”

可燃物までの距離		
	背面 (mm)	**側面 (mm)**
シングルウォールの煙道を使用	400	500

非可燃物までの距離（推奨）		
	背面 (mm)	**側面 (mm)**
全ての構成	10	7

*パッケージは除く

一酸化炭素 アラーム

建築基準法では、固定式の固形燃料機器や木質・バイオマス機器を新規に設置したり、交換したりする場合には、BS EN 50292:2002に準拠した一酸化炭素（CO）警報器を機器と同じ部屋に設置することが義務付けられています。詳細は建築基準法のDocument Jを参照してください。警報器の設置は、機器を正しく設置することや、機器や煙突システムの定期的なサービスやメンテナンスに代わるものと考えてはいけません。

機器の開梱

このストーブは、ボルトとストラップでパレットに固定されており、簡単で安全な輸送が可能です。　開梱するには、まずストラップとパッケージを取り外します。 次に、10mm スパナを使って、ストーブをパレットに固定している 2 本のボルトを取り外します。パレットは熱処理されていますが、薪として使用するのに適した木材で作られているため、薪として使用するために分解したり、切り刻んだりすることができます。　最後に、残った梱包材を責任を持って処分してください。

ホットプレートの準備

ホットプレートは、輸送時には2本のソケットネジで固定されています。設置する前に、この2本のネジを（5mmの六角レンチで）取り外し、付属のグラブネジ2本と交換してください。グラブスクリューは、ネジ山に汚れがつかないように、4mmの六角レンチでネジ止めしてください。

煙突と煙道

ストーブは、建築基準法の最新の要件に沿って、煙突と煙道に設置・接続する必要があります。基本的なガイドラインとして、煙突と煙道の設置は...

- ✔ 内部の断面積が約320cm²で、直径または正方形の辺の長さが125mm²以上であること。
- ✔ 高さが4.5m以上であること。

- ✔ 亀裂、激しい屈曲、空隙、障害物がないこと。(一般的に、最初の500mmは曲がりがなく、その後の曲がりは45°を超えてはいけません）。
- ✔ 煙道が煙突に接続されている場合、煙道が煙突の幅が狭くなっている箇所を通過していることを確認してください。
- ✔ 本マニュアルの「煙道ドラフト」の項に記載されている通り、適切な煙道ドラフトを確保してください。
- ✔ 将来のメンテナンスや清掃のためのアクセスを考慮してください。
- ✔ 煙道には、雨の侵入を防ぐためのキャップやカウルを付ける必要があります。
- ✔ ツインウォール断熱煙道を使用するには、シングルウォールスターターとシングル-ツインウォールアダプターが必要になります。ツインウォールの煙道を使用するには、ストーブを壁から離す必要があります。

詳細なガイダンスについては、建築基準法のDocument Jを参照してください。

囲炉裏

囲炉裏は12mm以上の厚さで、不燃性の素材を使用してください。使用時に、ストーブの下の水平面の温度が100℃未満であること。 ストーブの前面から囲炉裏の前面までの距離が225mm以上あること。　囲炉裏は、ストーブの重量に耐えられる堅牢な構造である必要があります。　詳細なガイダンスについては、建築規制の文書Jを参照してください。

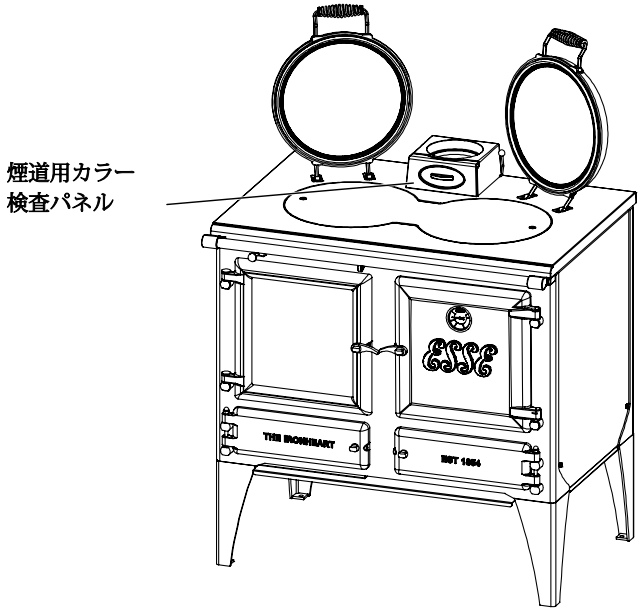
隙間距離（可燃物・非可燃物）

可燃物に対する必要な距離は、本マニュアルの「製品仕様」の項に記載されています。　　また、不燃物に対する推奨距離も同じセクションに記載されています。

煙道ドラフト

ストーブを安全かつ効率的に使用するためには、適切な煙道ドラフトが必要です。 ストーブを設置したら、試運転の前に、煙道カラー検査パネルの後ろにある煙道ドラフト読み取りポイントを使用して、煙道ドラフトを読み取る必要があります。

煙道のドラフトリーディングポイントを使用するには、煙道のガスケットプレートにある2つの穴のうちの1つに、断熱フォームを介して小さな穴を開けます。



クックストーブと煙突の両方が暖かいときは、1.25mm wg (12 Pa)から2.5mm wg (25 Pa)の間の範囲の読み値が期待されます。 この範囲を大きく逸脱した測定値は問題を引き起こす可能性が高いので、必要に応じて煙道のドラフト測定値を減少または増加させるために、さらなる調査を行う必要がある。

コミッショニング

設置が完了したら、煙道と煙突の接続が完全に密閉されていることを確認し、クックストーブのテスト点灯を完了します。 オーナー様に本機の使用方法を説明し、本マニュアルの「試運転チェックリスト」を完成させてください。 最後に、お持ちの方が参照できるように、このマニュアルをお持ちの方に残しておいてください。

3. 設置方法

記入してください。オーナーの記録と将来の保証請求のために必要です。

販売店情報:
名前:
住所:
電話番号:

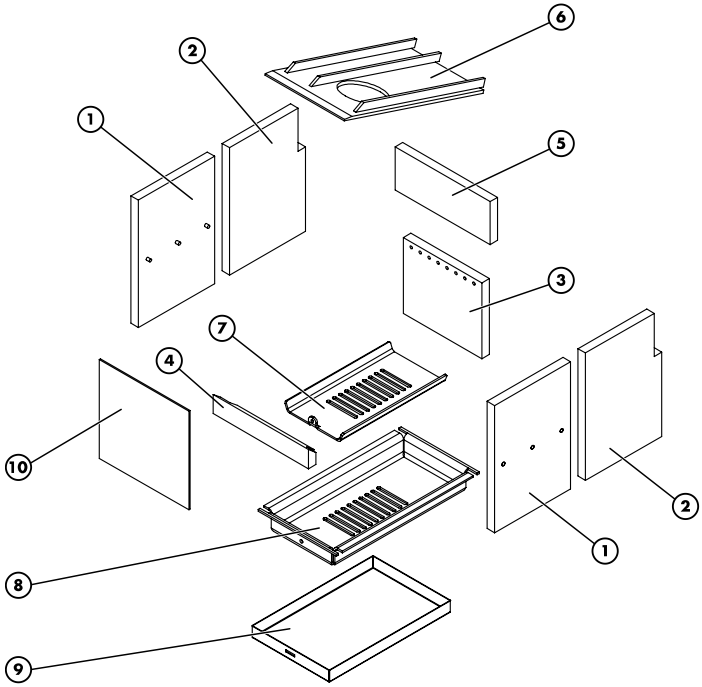
設置情報です。(必須情報 - 必ず入力してください)
設置日:
ESSE model:
シリアルナンバー:

設置技術者情報:
名前:
住所:
電話番号:

コミッショニングチェック (記入と署名が必要です)				
煙道のドラフトを読み取り、記録する:			(Insert reading here)	
煙道と煙突の設定が適切:	Yes	☐	No	☐
煙道と煙突の清掃と点検:	Yes	☐	No	☐
機器の煙テスト完了:	Yes	☐	No	☐
可燃物とのクリアランスを確認:	Yes	☐	No	☐
一酸化炭素アラーム装着:	Yes	☐	No	☐
オーナーへの機器の操作説明:	Yes	☐	No	☐
オーナーに取扱説明書を渡す:	Yes	☐	No	☐

サイン: ..... 名前:

4. 消耗品について



Item	Part No.	概要	Item	Part No.	概要
1	I-IH-200-001	Front LH/RH Brick With Pins (X2)	6	EW-012	鋳鉄製バッフル
2	I-IH-200-105	Back LH/RH Brick (X2)	7	I-IH-200-109	鋼鉄製リドルプレート
3	I-IH-200-103	背面下部 のレンガ	8	I-IH-200-110	鋼鉄製の火格子
4	I-IH-200-101	正面のレンガ	9	I-IH-200-112	灰皿
5	ES102	裏面のレンガ	10	FC-045	ガラス窓

ボルスターリッドのロープシールも、クックストーブの使用期間中に交換する必要があります。

上記の消耗品は、販売店を通じてご注文いただけます。 ご購入いただいた販売店で消耗品をご用意できない場合や、消耗品の入手についてご相談がある場合は、ESSE社に直接お問い合わせください。

ESSE

DECLARATION OF PERFORMANCE

(In accordance with Regulation (EU) No. 305/2011)

1. **Unique identification code of the product type**
   ESSE IH-ECO
2. **Product description**
   Ironheart
3. **Intended use of the product**
   Residential cookers fired by solid fuel
4. **Manufacturer**
   ESSE Engineering Ltd, Ouzledale Foundry, Long lng, Barnoldswick, Lancashire, UK, BB18 6BJ
5. **Authorised representative**
   n/a
6. **System of assessment**
   System 3
7. **Notified laboratory**
   The notified laboratory SGS Nederland BV, laboratory No. 0608 preformed the determination of the product type on the basis of type testing under system 3 and issued test report Ref. EZKA/2020-01/00032-1
8. **Declared performance**

	Wood	Ancit
• Harmonised technical specification	EN 12815:2001 +A1:2004	n/a
• Essential characteristics	Performance	n/a
• Fire safety	-	-
- Reaction to fire	A1	n/a
- Distance to combustible materials	Rear: 400mm Sides: 500mm	n/a
- Risk of burning fuel escaping	Pass	n/a
• Emission of combustible product (CO)	0.07%	n/a
• Surface Temperature	Pass	n/a
• Electrical Safety	n/a	n/a
• Cleanability	Pass	n/a
• Maximum operating pressure	n/a	n/a
• Flue gas temperature at nominal heat output	215°C	n/a
• Mechanical resistance (to carry a chimney / flue)	Pass	n/a
• Thermal properties	-	-
- Nominal heat output	7.6 kW	n/a
- Room heating output	7.6 kW	n/a
- Water heating output	n/a	n/a
• Efficiency	80.6%	n/a

9. **Conformity**
   The performance of the product identified in points 1 and 2 is in conformity with the declared performance given in point 8

Signed for on behalf of the manufacturer

Signed M. Ashby Date 09/06/20

Martin Ashby
Managing Director

R1 06/20

ESSE Engineering Ltd.,
Ouzledale Foundry, Long lng, Barnoldswick, BB18 6BJ | www.esse.com | reception@esse.com | +44 (0)1282 813235

ESSE Engineering Ltd.,
Long lng, Barnoldswick, Lancashire, BB18 6BJ, UK

Tel. 01282 813 235
Fax. 01282 816 876
Website www.esse.com

R1 0720